

最終更新:2019年10月



〒485-0014 愛知県小牧市安田町190 サポートセンターお問合せ E-mail <u>info@cells.co.jp</u>

1

36協定

作成方法フローチャート	٠	•	• 3
全事業所の36協定届を作成(一括/個別共通)	•	•	• 4
①全事業所の36協定届を一括作成	•	•	• 5
②全事業所の36協定届を個別作成	•	•	• 8
事業所ごとに36協定届を作成(一括/個別共通)	•	•	• 10
③事業所ごとに、労働保険番号全てを対象に一括作成	•	•	• 11
④事業所ごとに、各労働保険番号を対象に個別作成			
(※「台帳」V10.00.04以前の作成方法)	•	•	• 14
時間外労働・休日労働に関する協定書	•	•	• 16

作成方法フローチャート



● スポットで届出作成を受ける場合でも、「台帳」で事業所ファイルを新規作成し、労働保険の情報をもとに届出作成をおこないます。 (事業所ファイルを作成せず別の事業所を読み込んだファイルをベースに届出を作成することもできますが、ファイル保存はおこなえません)

3

全事業所の36協定届を作成(一括/個別共通)



- 作業するパソコンでは事業所ファイルは閉じた状態にしておきます。(ほかのパソコンでは事業所ファイルは起動していても影響ありません)
- 台帳に登録されている事業所ファイルの「会社情報」→「労働保険タブ」に事業所名、労働保険番号、
 事業の種類の入力情報が一覧に表示されます(労働保険番号は必須)。
- 一覧に表示されないデータが存在する場合は、事業所ファイルの会社情報を確認します。
- 全事業所を対象にデータを読み込む処理は、パソコン環境や事業所ファイルの数によって時間を要する
- ことがあります。予め時間に余裕をもって処理にお進みください。
- 「時間外労働・休日労働に関する協定書」の作成は16ページに進みます。



①全事業所の36協定届を一括作成1



1. 「一括作成」をクリックします。

- フォーム内の様式(平成31年4 月以前/以後)を選択し、対象 期間(自)の月を選択し「作 成」をクリックします。
- 3. 確認のメッセージは「OK」を クリックします。
- 4. 終了しましたのメッセージは 「OK」で閉じます。

- 「対象期間(自)」の月をプルダウンで選択するとその月から開始のデータを自動で選択します。「対象期間」が空欄でも作成した い事業所があれば、手動で選択します。
- 一括作成する際は過去に作成したデータを参照しますが、事業所のデータは現在の事業所ファイルから取得、期間は1年プラスした ものを自動入力します。「協定の成立年月日」及び「作成日」は自動で入りません。
- 下記3つのパターンでの自動作成は出来ません。

①36協定届をもとに特別条項付きの協定届、②特別条項付きの協定届をもとに36協定届、③新様式の届出データをもとに旧様式の届 出データ

①全事業所の36協定届を一括作成2



- 5ページの2で選択した様式
 「36協定届(平成31年4月以前/以後)」をクリックします。
- 2. 保存データ枠内の「読込」をク リックします。
- 3. 作成する36協定届のデータを 選択し、「読込」をクリックし ます。
- メッセージは「OK」で閉じます。画面上にデータが表示されます。前回のデータと異なる箇所の変更や内容の確認、日付の入力をおこなった後、印刷します。
- データ読込画面のファイル先頭に★がついているものは、5ページの方法でデータ作成したものです。
- データ読込の画面には、更新日時の新しいファイルが上に表示されます。
- 「検索」は、選択しているデータより下のデータを検索します。
- 旧様式のデータから新様式の届出を作成する場合は、2つの内容(②1年単位の変形労働時間制により労働する労働者、休日労働を させる必要のある具体的事由)が正しく読み込めていない可能性があります。各項目の内容をご確認ください。

①全事業所の36協定届を一括作成3



● 一括作成したかどうかの過程を残しておきたい場合は、上記4の処理で「いいえ」を選択します。
 (その場合は、一括作成時の★マークファイルと、保存し直した★マークなしのファイルが2つ存在することになります。)
 ● 特別条項付きの協定届は、36協定届と同じ要領でデータを読み込み作成します。

②全事業所の36協定届を個別作成1



- 「36協定届(平成31年4月以 前/以後)」をクリックします。
- 「データ作成」をクリックします。
- 作成する労働保険番号を選択し、 「作成」をクリックします。画 面上にデータが表示されます。 必要事項を入力し、印刷します。

● 会社名の「検索」は、選択しているデータより下のデータを検索します。

②全事業所の36協定届を個別作成2



● 特別条項付きの協定届は、36協定届と同じ要領でデータを作成します。

事業所ごとに36協定届を作成(一括/個別共通)



- 台帳に登録されている事業所ファイルの「会社情報」→「労働保険タブ」に事業所名、労働保険番号、事業の種類のいずれかが入力 されているものが一覧に表示されます。
- 「時間外労働・休日労働に関する協定書」の作成は16ページに進みます。

③事業所ごとに、労働保険番号全てを対象に一括作成1



1. 「一括作成」をクリックします。

- フォーム内の様式(平成31年4 月以前/以後)を選択し、作成 する対象の労働保険番号を選択 し「作成」をクリックします。
- 3. 確認のメッセージは「OK」を クリックします。
- 4. 終了しましたのメッセージは 「OK」で閉じます。

- 一括作成する際は過去に作成したデータを参照しますが、事業所のデータは現在の事業所ファイルから取得、期間は1年プラスした ものを自動入力します。「協定の成立年月日」及び「作成日」は自動で入りません。
- 下記3つのパターンでの自動作成は出来ません。

①36協定届をもとに特別条項付きの協定届、②特別条項付きの協定届をもとに36協定届、③新様式の届出データをもとに旧様式の届 出データ

③事業所ごとに、労働保険番号全てを対象に一括作成2



			The Most					·	100 100100 - 100 - 10000			a 115.8 % ****
				時間外労働	1-88.2 × 141-4 0	労働伊	彩演番号 🛄					*-#¥#\$\$
式第9号の2(第16条第1項関係	データ読込											
業事	の種類 ★作成	20191029084	129 36協定 23011-3765	89-000 東山商事da 特別	別条項協定届.xlsx		※台帳	で一括作成され	た保存データに	:(#	協定の社	育効期間
	作成2	01806291820	34 36協定 東山商事da 特	別条項36協定届.xlsx		1841	**	-950100	<i>t</i> , 9			
時 間 外 労 働	い労働者			保存データ読込	フたき ユン ユキレナ	×		3	-90表示	\$ 2 3 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	1年(①について ②については 起算日 (年月日) 法定労働時間を 超える時間数	は360時間まで、 320時間まで) 年月 所定労働時間 超える時間委 (任意)
[2 DU 07 12 07 & U 1	- • †#b6	23	0 1 1 3	7 6 5 8	9000		1
	様式第9号の2(第16条第13	स्टान (ड)				法	·····································	#¥ ¥4		+e#	K-5\$R50+	
	140-000-000-000000000000000000000000000	事業の種類			ОК		事業の所在地(電話	番号)		協定の	有効期間	
				4		19.2	古屋市中区三の丸	三丁目1番2号		令和2年4月	1日から1年間	
		卸売業				itter	052 -	961 -	2111)			
		卸売業	時間外労働をさせる。	業務の課題	1		₽ 052 - 1日	961 - 延長すること 1箇月(①について については	2111) ドできる時間数 は45時間まで、② 42時間まで)	1年(①について) ②について) 起算日 (年月日)	ては360時間まで、 は320時間まで) 年月日	
	Bŷ [卸売業	時間外労働をさせる 必要のある具体的事由	業務の種類	5 作定労働時 (1日) (1日) (任意)	留 法定労働時間を 超える時間数	 052 - 1日 所定労働時間を 超える時間数 (任意) 	961 - 延長することが 1箇月(①について については 法定労働時間を 超える時間数	2111) ができる時間数 は45時間まで、② 42時間まで) 所定労働時間を 超える時間数 (任意)	1年(①について) ②について) 起算日 (年月日) 法定労働時間を 超える時間数	ては360時間まで、 は320時間まで) 年月日 所定労働時間を 超える時間数 (任意)	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	卸売業	時間外労働たさせる 必要のある具体的事由 節時の受注、納明変更	業務の種類	5 作定労働時 (」(日) (任意) 8時間00分	5番号 5時間 5時間	 052 - 1日 所定労働時間を 超える時間数 (任意) 	961 - 延長すること、 1箇月(①について については 法定労働時間を 超える時間数 45時間	2111) 小できる時間数 小できる時間数 は45時間まで、② 42時間まで、③ 42時間まで、③ 加定労働時間を 超える時間数 (任意)	1年(①について) ②について) 超算日 (年月日) 法定労働時間を 超える時間数 360時間	ては360時間まで、 は320時間まで) 年月日 所定労働時間を 超える時間数 (任意)	
	時 間 外 労 ① 下記念に該当	卸売果 しない労働者	時間外労働たさせる 必要のある具体的事由 臨時の安注, 納朋友更		3 (1日) (1日) (注意) 3時間00分	13 法定労働時間を 超える時間数 5時間	 052 - 1日 所定労働時間を 超える時間数 (任意) 	961 延長することが 1箇月(①について については 法定労働時間を 超える時間数 45時間	2111) やできる時間数 は45時間まで、② 42時間まで、③ 所定労働時間を 超える時間数 (任意)	1年(①について ②について 起算日 (年月日) 法定労働時間を 超える時間数 360時間	ては360時間まで、 は320時間まで) 年月日 所定労働時間を 超える時間数 (任意)	

- 「36協定届(平成31年4月以 前/以後)」をクリックします。
- 2. 保存データ枠内の「読込」をク リックします。
- 3. 作成する36協定届のデータを 選択し、「読込」をクリックし ます。
- メッセージは「OK」で閉じます。画面上にデータが表示されます。前回のデータと異なる箇所の変更や内容の確認、日付の入力をおこなった後、印刷します。
- データ読込画面のファイル先頭に★がついているものは、11ページの方法でデータ作成したものです。
- データ読込の画面には、更新日時の新しいファイルが上に表示されます。
- 「検索」は、選択しているデータより下のデータを検索します。
- ★マークの保存データを読み込んで編集し改めて別ファイルとして保存する際は、最初にあったデータを削除するかどうか確認の メッセージが表示されます。
- 旧様式のデータから新様式の届出を作成する場合は、2つの内容(②1年単位の変形労働時間制により労働する労働者、休日労働を させる必要のある具体的事由)が正しく読み込めていない可能性があります。各項目の内容をご確認ください。

③事業所ごとに、労働保険番号全てを対象に一括作成3



● 一括作成したかどうかの過程を残しておきたい場合は、上記4の処理で「いいえ」を選択します。
 (その場合は、一括作成時の★マークファイルと、保存し直した★マークなしのファイルが2つ存在することになります。)

④事業所ごとに、各労働保険番号を対象に個別作成1



- 「36協定届(平成31年4月以 前/以後)」をクリックします。
- 「データ作成」をクリックします。
- 作成する労働保険番号を選択し、 「作成」をクリックします。画 面上にデータが表示されます。 必要事項を入力し、印刷します。

- 会社名の「検索」は、選択しているデータより下のデータを検索します。
- 「予備の事業所所在地を表示」をクリックすることで会社情報>基本データ> その他に登録されている住所が表示されます。

④事業所ごとに、各労働保険番号を対象に個別作成2



● 特別条項付きの協定届は、36協定届と同じ要領でデータを作成します。

時間外労働・休日労働に関する協定書1



- 1. 「時間外労働・休日労働に関する協定書」をクリックします。
- 2. 「作成」をクリックします。
- 3. 作成する会社名を選択し、会社 名から協定日までを入力し「作 成」をクリックします。
- 4. 「OK」をクリックし、画面上 の入力欄を埋めていきます。

- 有効期限は、メニューに表示されている保存データにプラス1年で計算しています。
- 協定日は、作成日(本日)の日付が入ります。

? 36協	定 ***	7	36協定届(平成31年4月1	日以後様式)	時間外労働・休日労働に関する協定書
時間外労働・休日労	働に関する協定届	JITF/06	36協定届(平成31年4月	1日前様式)	時間外労働・休日労働に関する特別条項協定書
会社名	労働保険番号	事業の種類	対象期間(自)		参照保存データ

時間外労働・休日労働に関する協定書2



● 時間外労働・休日労働に関する特別条項協定書は、時間外労働・休日労働に関する協定書と同じ要領でデータを作成します。